

## 受賞者の発表について（法教育懸賞論文）

法教育推進協議会，日本司法支援センター（法テラス），社団法人商事法務研究会の主催，日本弁護士連合会，日本司法書士会連合会の後援による法教育懸賞論文は，平成22年6月に応募を開始し，10月末日をもって応募が締め切られました。

本年度のテーマは，「学校現場において法教育を普及させるための方策について」でしたが，全国各地の教員，法律実務家等の皆さんから多数の応募をいただきました。

法教育推進協議会法教育普及検討部会において厳正な審査を行った後，平成22年12月22日の法教育推進協議会の決議を経て，次の受賞者が選定されました。

なお，受賞した論文の掲載及び最優秀賞・優秀賞の方への表彰式は後日行います。

**【最優秀賞】（1名）** 武藤立樹氏（島根県立隠岐島前高等学校教諭）

**【優 秀 賞】（2名）** 春田久美子氏（弁護士・福岡県弁護士会）

札埜和男氏（京都教育大学附属高等学校教諭）

**【佳 作】（4名）** 長島光一氏（明治大学付属明治高等学校講師）

松岡正志氏（弁護士・広島弁護士会）

飯野眞幸氏（前・群馬県立高崎女子高等学校長）

金子幹夫氏（神奈川県立三浦臨海高等学校総括教諭）